

まずは
相談から
始めましょう。



特別な支援が必要なこどもの就学について ～ 小学校入学までのスケジュール ～

年中

年長

入学後

随時 就学に向けた情報収集と事前相談(各相談機関)

1月頃 教育委員会主催の就学説明会への参加

随時 学校見学・学校での相談

- ・教育相談室での就学相談を受ける前に、お子さんと一緒に入学を希望する学校を事前に見学しておくといでしょう。
- ・居住地周辺の特別支援学校、居住校区の特別支援学級等を中心に検討します。

4月～ 教育相談室での相談(学びの場の相談)

- ・電話で相談の予約をします。(教育相談室 362-7070)
- ・発達検査や行動観察、結果説明を受けながら、学びの場について相談します。
- ・これまでに受けた検査や支援の記録などがあれば、必ず持っていきましょう。
- 特別支援学級・特別支援学校を希望する場合は、早めに相談をして10月頃までに教育相談室での相談を終えるようにしましょう。
- 特別支援学校への入学を希望する場合は、特別支援学校での教育相談が必要です。

5月～6月頃 教育委員会主催の就学説明会への参加

- ・特別支援学級・特別支援学校の入学に向けて、学びの場の違いや相談窓口、スケジュール等の説明会へ参加します。(説明会の日程等は市政だよりや市役所HPを確認。)

10月～11月頃 就学時健康診断

- ・居住校区の小学校で行われる就学時健康診断を受けます。

就学支援委員会での審議

- ・就学支援委員会において、専門家による学びの場の審議を行います。その審議結果をもとに、保護者と学校とで学びの場や支援の内容等を確認します。
- 特別支援学校の入学決定は1月下旬頃に通知されます。

2月～3月 入学説明会への参加

- ・入学が決定した学校より、説明会の案内が届きます。

入学に向けて

- ・必要に応じて、入学に向けての準備や打ち合わせを行います。
- ・移行支援シートを活用して、支援の内容を共有しましょう。

入学後

- ・学級担任、特別支援教育コーディネーター、学年主任、養護教諭、保健師、地域の福祉サービス事業所等が連携・協力をしながら、入学後の育ちをサポートします。

※特別支援学級や通級指導教室
…知的、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障がい(通級のみ)、自閉症、情緒障がい等の支援が必要な内容を基本として編制されるもの。

学級新設を要望する場合

- ・手続きが必要なため、新設を希望する学校との相談を8月末までに終えておきます。
- ・1月に新設の可否が決まります。
※ご希望に添えない場合もあります

複数の選択肢から、
お子さんの特性に合った、
学びの場を選びましょう。



「移行支援シート」や「サポートブック」などを作成して、保育園等で行っていた支援を学校に伝えましょう。

児童発達支援は、未就学児対象のサービスです。小学校入学後は放課後等デイサービスへ変更する必要があるため、各相談窓口、相談員と話し合しましょう。



※このスケジュールは、目安です。それぞれの手続きの詳細については、各相談窓口へお尋ねください。



小学校入学前の移行期あるある



知的障がいのあるAさんのお父さんの話

娘には先天性の疾患がありますが、周囲の皆様に支えられながら成長し、保育園入園や小学校入学などの節目には早い段階から準備することができました。

就学に関しては、保健師さんや相談員さんに準備の進め方を教えてもらいました。年中から学校見学を始め、年長の4月には教育相談室の予約をとりました。初めは娘が通える学校の選択肢が限られていると思っていましたが、専門の相談員さんから様々な学びの場があることを聞き、娘にあった学校を一緒に考えてもらいました。その結果、より専門的な支援が受けられる特別支援学校を希望しました。



自閉スペクトラム症の診断を受けたBくんのお母さんの話

3歳児健診をきっかけに障がいわかり、療育に通い始めましたが、“地域で育てほしい”との願いがあり、地域の保育園に通い、就学先も地域の小学校の通常学級を考えていました。

年長になり、相談員さんから色々な学びの場を見学してみてもと勧められ、特別支援学級の見学をしました。その際に、“専門的な支援のある環境もいいのかも…”と悩んだので、教育相談室を予約して相談に行きました。相談後は、息子の特性を考え、地域の小学校の特別支援学級を希望することにしました。保育園から小学校へと環境が変わることは息子にとって大きな負担になると思い、少人数の落ち着いた環境で支援が受けられるようにと考えました。また、“特別支援学級に通うことを決めたとしても、途中で学びの場の変更ができる”と教えてもらったことも、この選択をしたきっかけになりました。



児童発達支援事業所に通うCくんのお母さんの話

小さい頃から、お姉ちゃん比べると動きが多く言葉も遅かったのですが、伸び伸びと育てていました。こども園から勧められ、息子の発達のことでも市役所の保健師へ相談し、児童発達支援事業所に通うこととなりました。年長になると、就学に向けて教育相談室への相談を勧められました。教育相談室では、通常学級に行くか特別な支援を受けるか迷っている状態でも一緒に考えてもらえるので、相談に行きました。

わたしたち親だけでは判断が難しかったのですが、通常学級を選択しました。教育相談室に相談したことで、小学校にも事前に息子のことを知ってもらえ、入学後も支えてもらえるので聞き、安心できました。

- 特別支援学校、特別支援学級への就学を希望する場合は、教育相談室への相談が必要になります。学びの場は、その後の就学支援委員会にて審議されます。
- どの学びの場を選択するとしても、まずは早めに相談をしましょう。
- 入学から卒業までの期間の途中で学びの場を変更することも可能です。
- お子さんに合った環境で、一緒に学びを支えていきましょう。

※掲載された内容は、こども部会で検討されたものを編集して構成しています。